

平成 23 年度 長岡造形大学教員免許状更新講習 募集要項

1 講習の開設について

長岡造形大学では、教員免許更新制導入に際し、最新の知識技能修得の場としての役割を果たすために教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）（以下「免許法」という。）第 9 条の 3 に規定する免許状更新講習（以下「講習」という。）を開設いたします。

2 受講対象者

免許法第 9 条の 3 第 3 項に規定する者のうち、平成 21 年 3 月 31 日までに教員免許状を授与された者で、かつ、下記に該当する方が受講対象者です。

- (1) 昭和 51 年 4 月 2 日～昭和 53 年 4 月 1 日生まれ
- (2) 昭和 41 年 4 月 2 日～昭和 43 年 4 月 1 日生まれ
- (3) 昭和 31 年 4 月 2 日～昭和 33 年 4 月 1 日生まれ

3 開講講習

- (1) 建築・環境デザイン論-今造形大が考えていること- (選択領域 18 時間)
- (2) 美術・工芸実習の基礎(金属造形の実際) (選択領域 18 時間)
- (3) 美術・工芸演習の基礎(模様染の実際) (選択領域 18 時間)
- (4) 技術と美術の隙間で (選択領域 18 時間)

募集期間等詳細は別紙をご参照ください。

4 受講者の募集及び決定

(1) 受講者の募集及び決定の手順

教員免許状更新講習管理システム <http://www.menkyokk-niigata.jp/>にて、受講者を募集及び決定します。申込手順は以下のとおりです

教員免許状更新講習管理システムのアクセス権限を取得（受講希望者）
システムに利用者情報を登録（受講希望者）
受講の仮申込（受講希望者）
受講者の仮決定
受講の本申込（受講希望者）
受講者の決定
受講票の発行（印刷の上、当日持参してください。）（受講決定者）

(2) 受講者の仮決定方法

受講希望者が、受講予定人員を超えていない場合は、受講希望者全員を仮決定者とします。ただし、受講希望者数が規定数に達しない場合は講習を開催いたしません。

受講希望者が、受講予定人員を超えている場合は、抽選となります。

(3) 受講申込書

仮決定された受講者はシステムで作成された受講申込書を印刷し、本学に送付してください。受講申込書が届いたことの確認をもって受講決定といたします。

5 講習料の納入方法

受講日初日受付にて、現金でお支払いください。領収書を発行いたします。

本学の都合により講習を開催できない場合を除き、納入された講習料は一切返金いたしません。

6 保険の加入

講習受講(会場までの移動を含む)に係る保険は、受講者が自己負担で加入してください。

7 受講者に対する事前の課題意識調査

免許状更新講習規則(平成20年文科省令第10号)(以下「規則」という。)第7条第1項に規定する講習の内容等に関する受講者の意識調査事前アンケート(100文字以内)は、受講希望者がシステムで申込みを行う際に実施しますので入力してください。

8 遅刻、欠席等の取扱い

(1) 遅刻は、台風等の天候上、公の交通機関の遅延等の正当な理由がなければ認めません。

(2) 原則として欠席・途中退席は認めません。

(3) 上記(1)の場合も含めて、出席時数が1講習当たり15分以上不足している受講者については、当該講習の成績審査を行いません。

9 休講及び補講の取扱い

(1) 長岡造形大学が、台風等の天候上の理由又は講師の急病等により講習を開催できないと判断したときは当該講習を休講(実施中における中止を含む)とすることがあります。

(2) 上記(1)により休講とした講習は、原則として補講を行います。

(3) 休講の連絡、補講の日程に関する連絡は、更新講習 Web ページや電話等の適切な方法で受講者へ連絡いたします。

(4) 上記(2)による補講を実施できない場合又は補講を受講できない受講者には、当該講習の講習料を全額返還いたします。

10 受講許可の取消し

講習の受講を許可された者が次に掲げる事項に該当するときは、受講の許可を取り消すことがあります。なお講習開始後の取り消しの場合は、受講料は返還できません。

(1) 講習の進行を妨げる行為があったとき

(2) 講師や他の受講者等に迷惑をかける行為があったとき

(3) 著しく本学の名誉を傷つけたとき

(4) 本学関係者に対し暴行、脅迫等の行為があったと認められるとき

(5) その他本学が更新講習の運営上不適当と判断するとき

11 講習の事後アンケート調査

規則第7条第2項に規定する講習の事後評価に係るアンケート調査は、全ての受講者を対象として講習ごとに当該講習の最後に実施します。文部科学省が定める調査項目の調査結果は教員免許状更新講習コンソーシアム新潟のホームページで公開します。

1.2 修了認定

(1) 修了認定の方法

講習の課程修了の認定(以下「修了認定」という。)は、小論文試験又は実技試験(以下「試験」という。)による成績審査に合格した者に対して行います。

(2) 成績審査の基準

試験の成績審査の基準は、以下のとおりとします。

講習の修了認定は、本学が行う試験に合格した者に対して行います。

成績審査基準は次のとおりです。

評語	点数	判定	評語の定義
S	100点～90点	合格	当該事項の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
A	89点～80点	合格	当該事項の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
B	79点～70点	合格	当該事項の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
C	69点～60点	合格	当該事項の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
F	59点以下	不合格	当該事項の到達目標に及ばない。

成績審査において「F」と評価された者は、当該講習の履修について不認定とします。

(3) 不正行為

試験の際に受講者が不正行為をした場合は、当該講習の受験は無効とします。

(4) 証明書

修了認定を受けた受講者に対し、証明書を交付します。

1.3 修了認定試験の個人成績の開示

(1) 開示内容

平成23年度長岡造形大学教員免許状更新講習の修了認定試験における個人成績を本人に限り開示します。

(2) 開示方法

申請時に提出された返信用封筒により、開示内容を郵送(簡易書留)します。

(3) 受付期間

修了認定の証明書が、受講者に到達した日の翌日から起算して60日を経過する日(その日が日曜日又は国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときはその翌日、土曜日に当たるときはその翌々日。)の17時まで

(4) 申請者及び受付方法

申請者

申請者は本人とし、代理人は不可

窓口での申請受付

ア 受付場所

長岡造形大学本部棟 1階 事務局

イ 受付時間

土曜日、日曜日及び休日を除く日の9時から16時まで

郵送による申請受付

ア 郵送先

〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地

長岡造形大学学務課教務係 宛

朱書きで「個人成績の開示請求」と記載してください。

電話及び電子メールによる申請受付は、本人が特定できないため実施しません。

(5) 申請書類

窓口への持参による申請書類

ア 修了認定試験成績開示申請書（本学所定の用紙）

イ 開示を請求する講習の受講票（コピー不可）

受講票を紛失した場合は、本人を確認できる身分証明書等を持参

ウ 返信用封筒（長形3号封筒に、本人の住所・氏名を記入し、郵便切手380円分（簡易書留）を貼付したもの）

郵送による申請書類

ア 修了認定試験成績開示申請書（本学所定の用紙）

イ 開示を請求する講習の受講票（コピー不可）

ウ 返信用封筒（長形3号封筒に、本人の住所・氏名を記入し、郵便切手380円分（簡易書留）を貼付したもの）

【本件に関する問い合わせ先】

長岡造形大学 事務局 学務課教務係

〒910-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地

(0258) 21-3351 FAX (0258) 21-3312

E-mail kyomu@nagaoka-id.ac.jp

長岡造形大学教員免許状更新講習
修了認定試験成績開示申請書

平成 年 月 日

長岡造形大学長 殿

申請者
フリガナ
氏 名
生年月日
連絡先
住 所 〒

電話番号
メールアドレス

平成 年 月に開催された下記の教員免許更新講習について、私の評価（評語）の開示を申請いたします。

受講講習名

- 1 申請窓口にて受講票または身分証明証の提示をお願いします。郵送の場合は、受講票を同封してください。受講票を紛失した場合は、窓口のみでの対応となります。
- 2 返信用封筒（本人の住所・氏名を記入の上、郵便切手 380 円分を貼付した長形 3 号（約 12cm × 24cm）が必要となります。

大学使用欄

本人確認	受領印
1 受講票 2 身分証明書（ ）	

建築・環境デザイン論 -今造形大が考えていること-

実施期間：平成23年7月30日（土）31日（日）8月1日（月）

対象：教諭（科目の指定はありません。養護教諭の方は受講できません。）

場所：長岡造形大学

受講料：18,000円（材料費を含む）

定員：100人（受講希望者が9人以下の場合は開講しません）

募集期間：平成23年6月16日（木）～7月22日（金）

講習内容：環境デザインとは何か？ 環境デザインを構成している各専門分野からわかりやすく解説します。私達の身の回りを取り巻く自然環境から都市環境は人間の営為のままに放置した状態では、決して住みやすく、他の国の人々に誇れる環境にはなりません。今あるものを大切にし、それを良い方向に維持するためには、人間の意思が明確に働く必要があります。環境デザイン学とはそのような意思を各専門分野毎に明らかにし、かつその専門分野を総合化することによって達成される学問であります。今回はその一端を受講生の皆様に理解していただきます。

注意事項：7月30日（土）は午前8時45分までに長岡造形大学にお越しください。

昼食は各自でご用意ください。（大学の学食は営業していません）

受講料は講習初日に受付にて徴収いたします。

お問い合わせ先：長岡造形大学学務課教務係

電話：0258-21-3351

e-mail:kyomu@nagaoka-id.ac.jp

建築・環境デザイン論 -今造形大が考えていること-
スケジュール

第一日目 開始の挨拶 (建築・環境デザイン学科長)

1限 (9 : 0 0 ~ 1 0 : 2 0)	菅原 浩 教授	「環境思想論」
2限 (1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 0 0)	後藤哲男 教授	「都市設計論」
3限 (1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 2 0)	木村 勉 教授	「歴史・文化論」
4限 (1 4 : 4 0 ~ 1 6 : 0 0)	飛田範夫 教授	「造園・作庭論」
5限 (1 6 : 2 0 ~ 1 7 : 4 0)	上野裕治 教授	「景観設計論」

第二日目

1限 (9 : 0 0 ~ 1 0 : 2 0)	川口とし子教授	「住宅リフォーム論」
2限 (1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 0 0)	江尻憲泰 教授	「建築構造・技術論」
3限 (1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 2 0)	平山育男 教授	「日本建築構法論」
4限 (1 4 : 4 0 ~ 1 6 : 0 0)	山下秀之 教授	「現代建築設計論」
5限 (1 6 : 2 0 ~ 1 7 : 4 0)	森 望 教授	「展示空間論」

第三日目

1限 (9 : 0 0 ~ 1 0 : 2 0)	渡邊誠介准教授	「まちづくり論」
2限 (1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 0 0)	新海俊一准教授	「情報建築論」
3限 (1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 2 0)	澤田雅浩准教授	「都市防災論」
ゲスト講師 長岡造形大学名誉教授 平井邦彦		
4限 (1 4 : 4 0 ~ 1 6 : 0 0)		『東日本大震災からの復興』
5限 (1 6 : 2 0 ~ 1 7 : 0 0)		小論文試験

美術・工芸実習の基礎（金属造形の実際）

実施期間：平成23年8月22日（月）23日（火）25日（木）

対象：教諭（科目の指定はありません。養護教諭の方は受講できません。）

場所：長岡造形大学

受講料：21,000円（材料費を含む）

定員：10人（受講希望者が4人以下の場合は開講しません）

募集期間：平成23年6月16日（木）～7月15日（金）

講習内容：美術・工芸の実技教育には、造形目的に応じた素材の選択と表現技法の正しい知識が必要となります。美術や工芸の実際の授業に応用することも含め、基礎的な金属造形の制作工程に伴う安全な用具機器の取り扱い、加工原理を理解・考察するための作品制作を行います。

スケジュール：8月22日10：00～17：00（12：00～13：00 昼休み）

ガイダンス、アイデアスケッチ、蠟原型制作

8月23日10：00～17：00（12：00～13：00 昼休み）

湯道付、鋳型制作

8月24日

休（窯焚。制作作業は行いません。）

8月25日10：00～17：00（12：00～13：00 昼休み）

鋳込、仕上、作品提出、講評

注意事項：8月22日（月）は朝10時までに長岡造形大学事務局にお越しください。受付を行います。服装は作業着・エプロン等汚れても良い服装で来てください。8月23日（火）は作業で石膏を扱います。汚れても良い作業着・靴を持参してください。

8月24日（水）は作業を行いません。

8月25日（木）は高温での作業を行います。長袖・長ズボン（綿のもの。化繊、アクリルは不可）靴を用意してください。汗をかきますので、着替え（Tシャツ等）があると良いです。

作業中は暑いので、必ずタオルを持参してください。

昼食は各自でご用意ください。（大学の学食は営業していません）

受講料は講習初日に受付にて徴収いたします。

お問い合わせ先：長岡造形大学学務課教務係

電話：0258-21-3351

e-mail：kyomu@nagaoka-id.ac.jp

美術・工芸演習の基礎（模様染の実際）

実施期間：平成23年8月23日（火）24日（水）25日（木）

対象：教諭（科目の指定はありません。養護教諭の方は受講できません。）

場所：長岡造形大学

受講料：21,000円（材料費を含む）

定員：10人（受講希望者が4人以下の場合は開講しません）

募集期間：平成23年度6月16日（木）～7月15日（金）

講習内容：美術・工芸の実技教育には、造形の目的に応じた素材と表現技法の正しい理解が必要となります。授業への応用を考慮に入れ、素材、道具の扱い等、基礎的な後染め技法の習得、および造形における素材と表現について理解を深める為の作品制作を行います。

スケジュール：8月23日10：00～17：00（12：00～13：00 昼休み）

ガイダンス、アイデアスケッチ、染色準備、型彫り

8月24日10：00～17：00（12：00～13：00 昼休み）

下地作り、型紙作成、糊置き

8月25日10：00～17：00（12：00～13：00 昼休み）

藍染、水洗、仕上、作品提出、講評

注意事項：8月23日（火）は午前10時までに長岡造形大学事務局にお越しください。受付を行います。服装は作業着・エプロン等汚れても良い服装で来てください。

8月24日（水）は作業で型紙を制作します。汚れても良い作業着・靴を持参してください。

8月25日（木）は型付け・染色の作業を行います。汚れても良い作業着・靴を持参してください。

作業中は暑いので、必ずタオルを持参してください。

昼食は各自でご用意ください。（大学の学食は営業していません）

受講料は講習初日に受付にて徴収いたします。

お問い合わせ先：長岡造形大学学務課教務係

電話：0258-21-3351

e-mail:kyomu@nagaoka-id.ac.jp

技術と美術の隙間で

実施期間：平成23年8月8日（月）、9日（火）、10日（水）

対象：理科、技術、美術をご担当の教諭

場所：長岡造形大学

受講料：22,000円（材料費を含む）

定員：10人（受講希望者が4人以下の場合は開講しません）

募集期間：平成23年度6月16日（木）～7月16日（土）

講習内容：美術の新しい領域、メディアアートと呼ばれる領域では美術的な表現と同時に、その表現を実現するための技術が必要とされます。この技術は電気回路やコンピュータ等です。これらの事柄は通常、理系と区別をされます。メディアアートは理系と美術の隙間に存在していると言えます。この講習では美術と理系、その両面からアプローチを行います。実際に電気回路の組み立てを行い、その事柄がどのように美術に活かせるのかを考えます。

注意事項：8月8日（月）は朝10時までに長岡造形大学事務局にお越しください。受付を行います。

使い慣れた工具（半田ごて、ニッパー、精密ドライバ等）がある場合は持参してください。

昼食は各自でご用意ください。（大学の学食は営業していません）

受講料は講習初日に受付にて徴収いたします。

お問い合わせ先

長岡造形大学学務課教務係

電話：0258-21-3351

e-mail：kyomu@nagaoka-id.ac.jp